

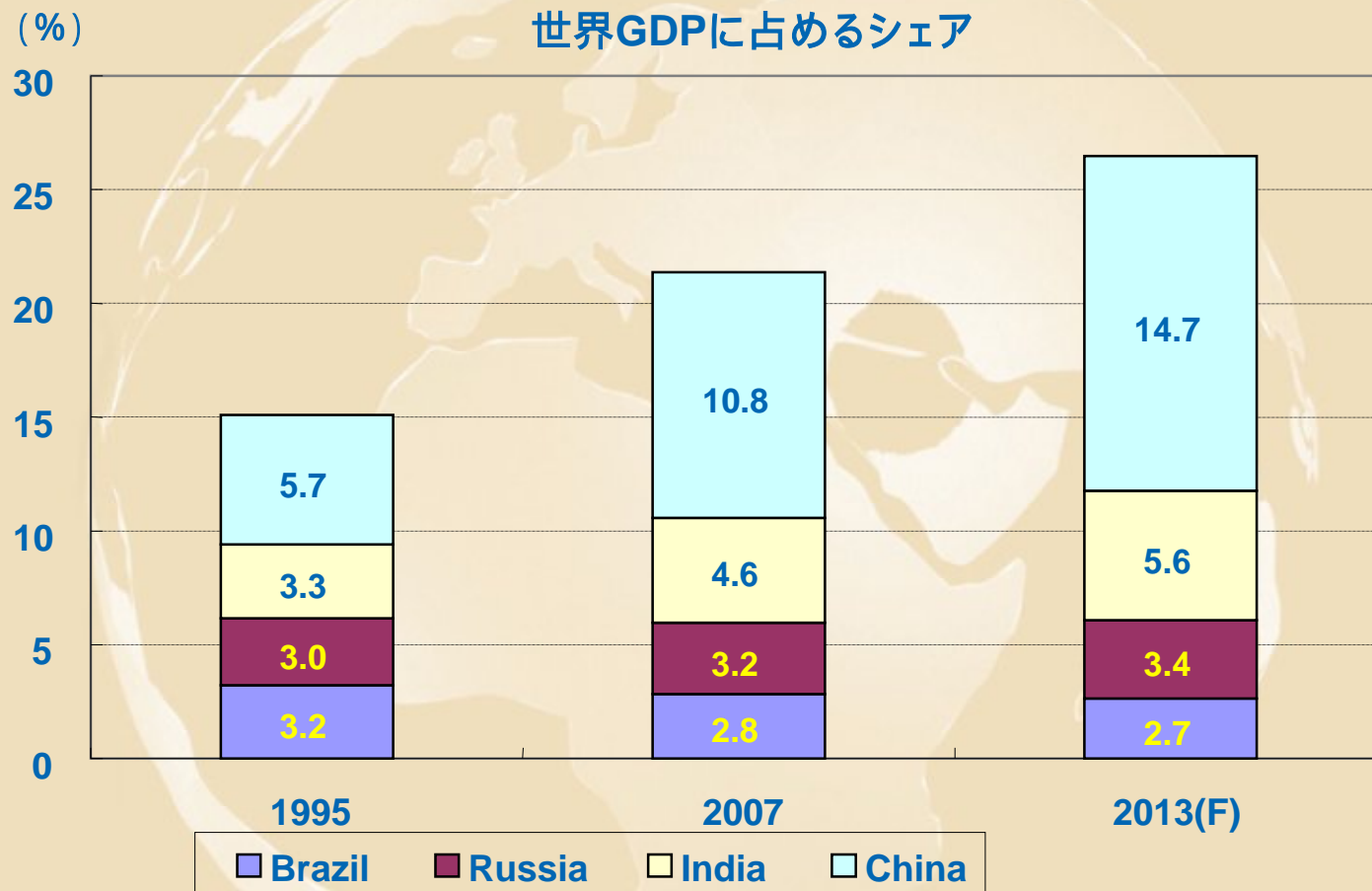
# BRICsにおける 日本企業のビジネスチャンス

カリヨン証券会社 東京支店  
マネージングディレクター  
チーフエコノミスト  
加藤 進

# 主な論点

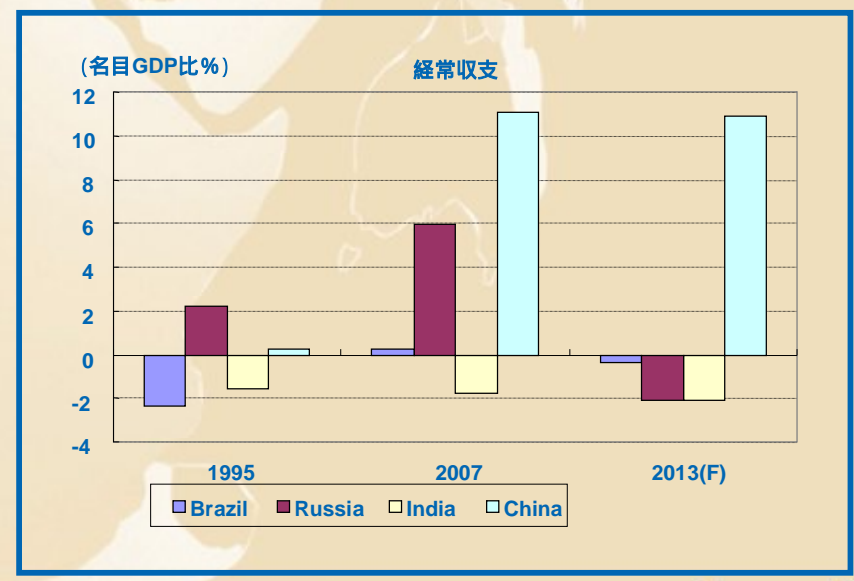
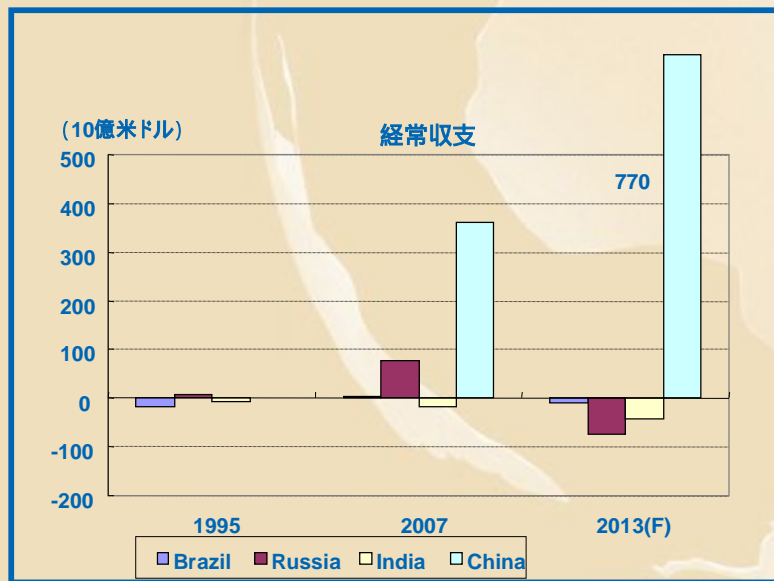
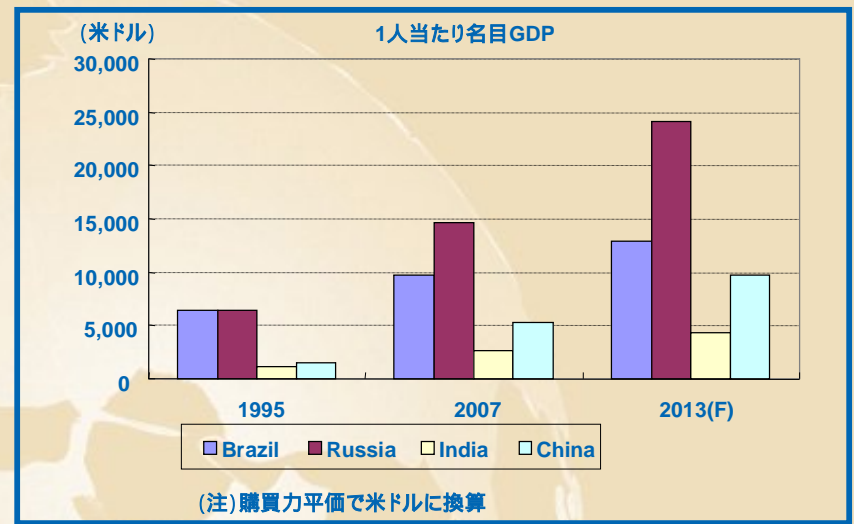
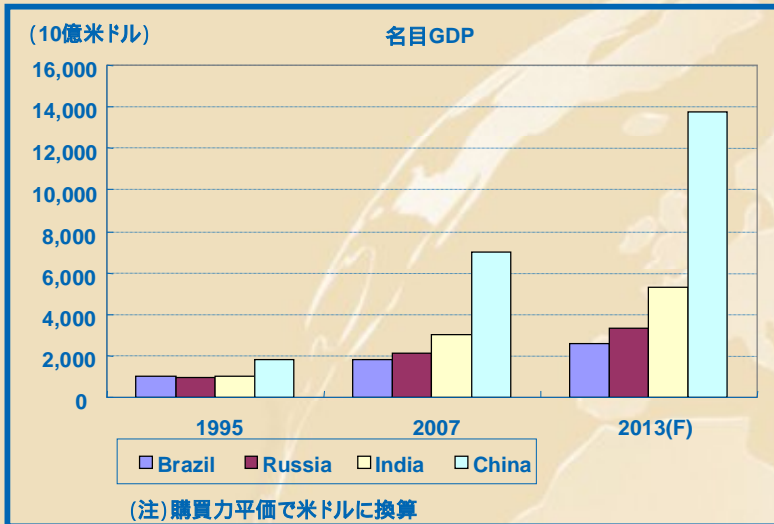
- 世界経済に占めるBRICsの重要性
- 経済の安定化
- 経済の成長性
- 政治的の安定性
- BRICsの将来の姿
- 日本にとってのBRICs
- 中国のケース

# BRICs 経済の世界経済に占める重要性

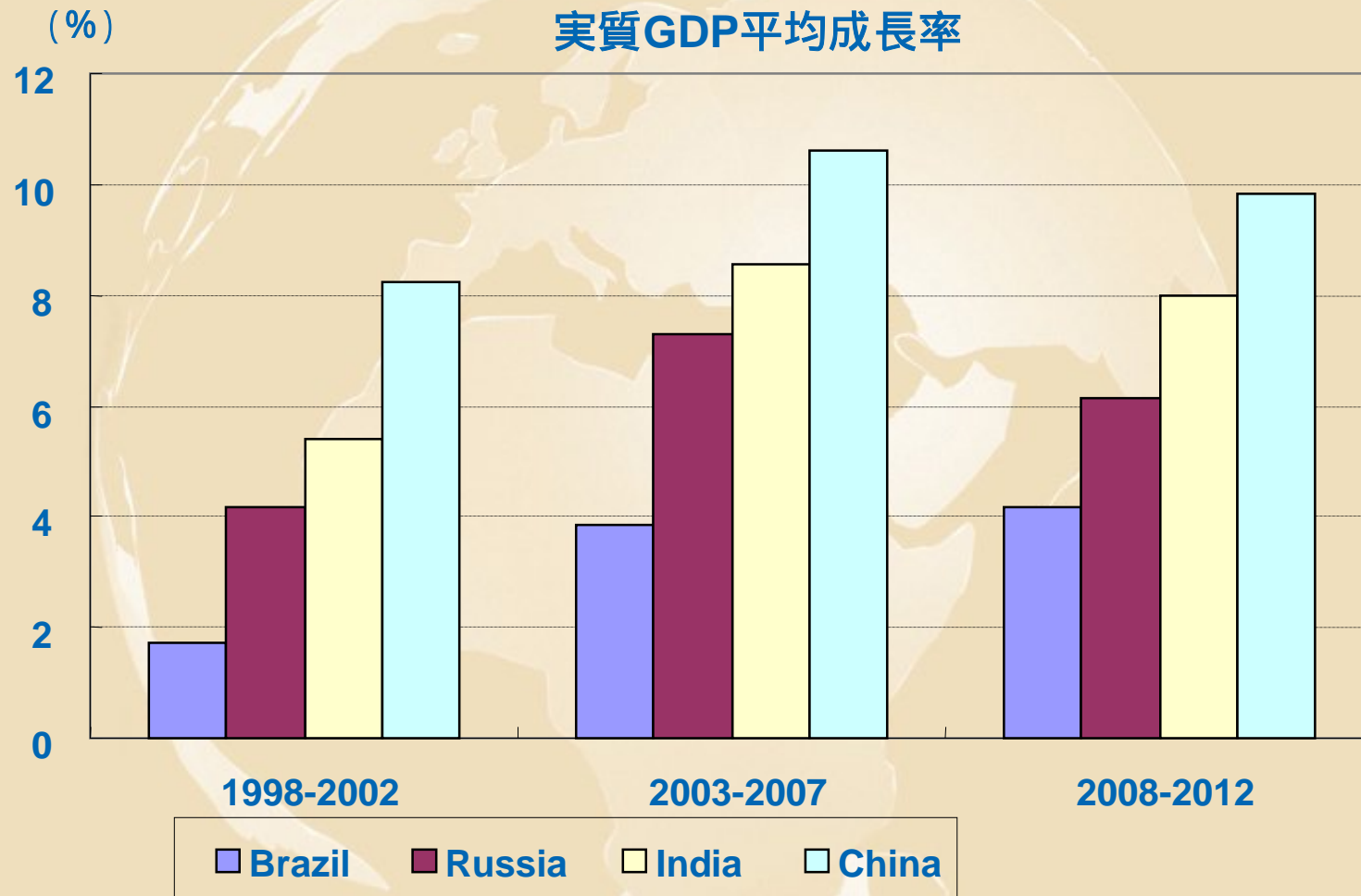


(注) 購買力平価で米ドルに換算

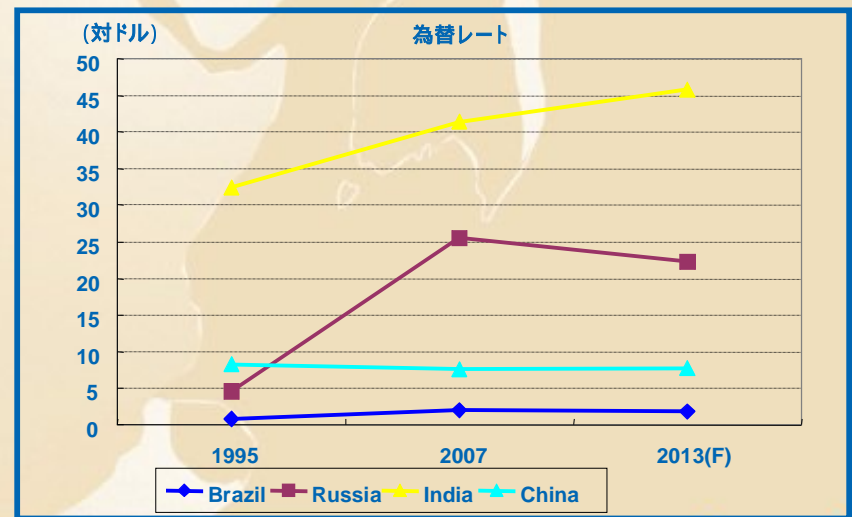
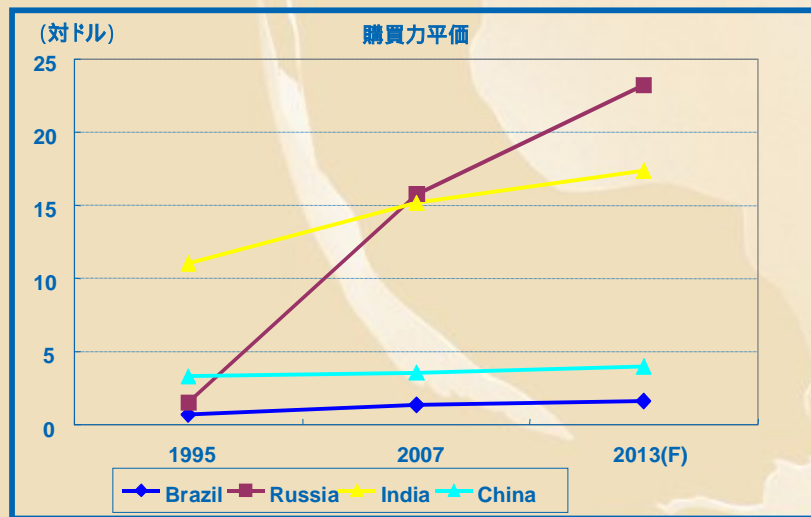
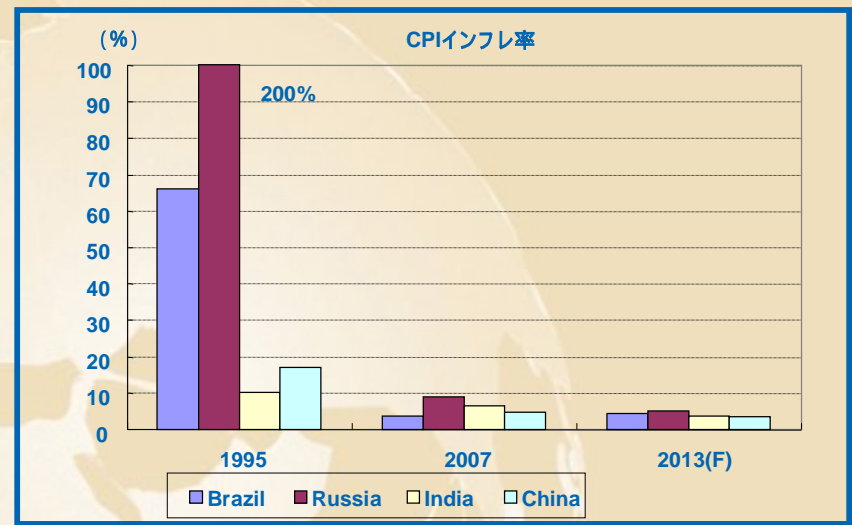
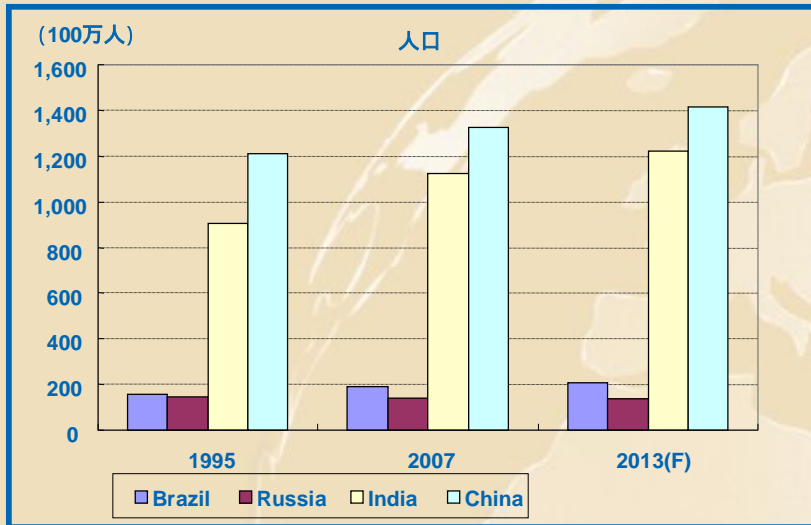
# BRICsの経済発展の経緯



# BRICs 経済の成功



# BRICs 経済の安定性



# BRICs 経済の一般的な特徴

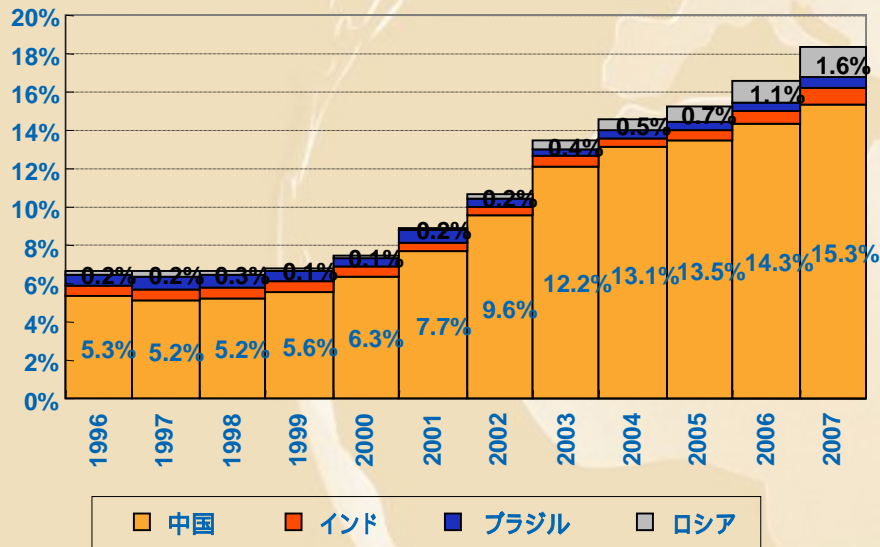
- 政治が安定している
- 成長性の高い自国市場を持つ
- 人口が多く、経済発展とともに国内消費の拡大が期待できる
- ビジネスのルールが解りやすい
- 対日感情が良好
- 人的資源と鉱物資源が豊富

# BRICs 経済の特徴

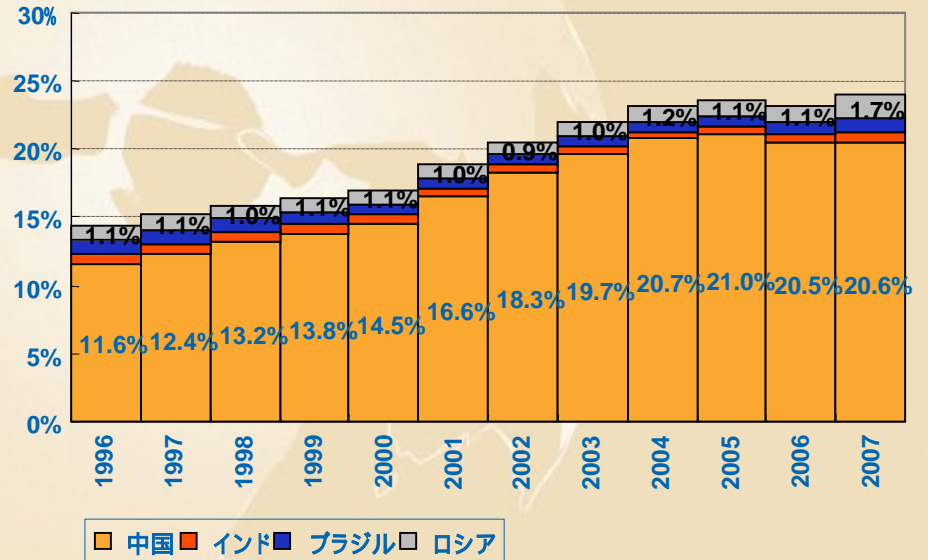
- 農業から重工業化が顕著な中国
- 原油・天然ガスなど鉱物資源が豊富なロシア
- ITのソフトウェアを中心としたサービス業から工業化も進展するインド
- 鉄鉱石などの鉱物資源から工業開発にいたるブラジル  
顕著な金融資産投資

# BRICsと日本の貿易

BRICs地域別輸出金額のシェア

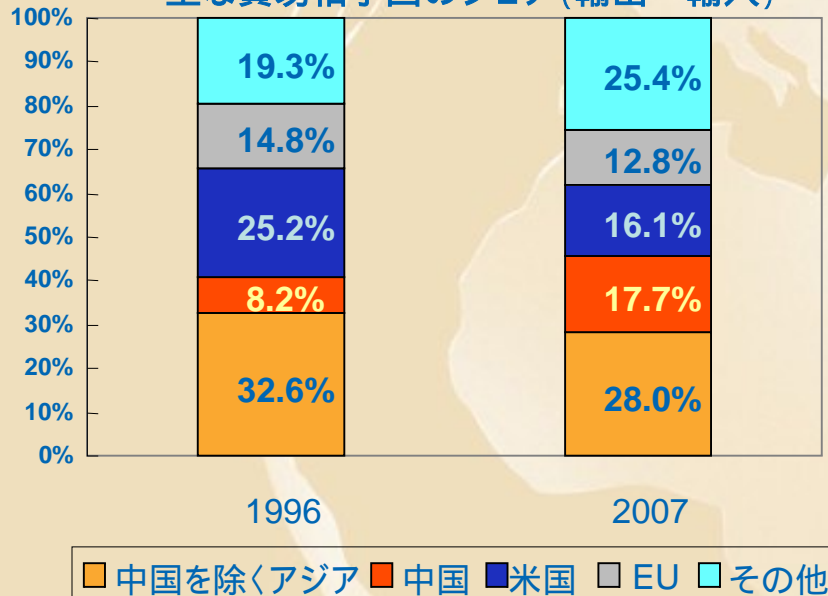


BRICs地域別輸入金額のシェア

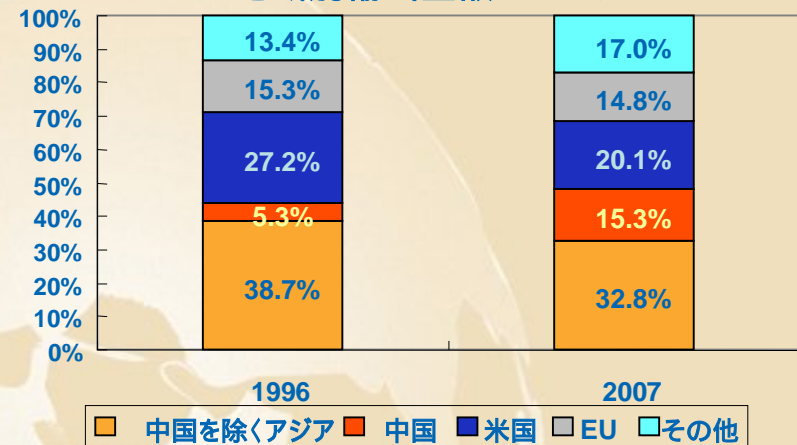


# 貿易の対米依存度の大幅低下(中国が最大)

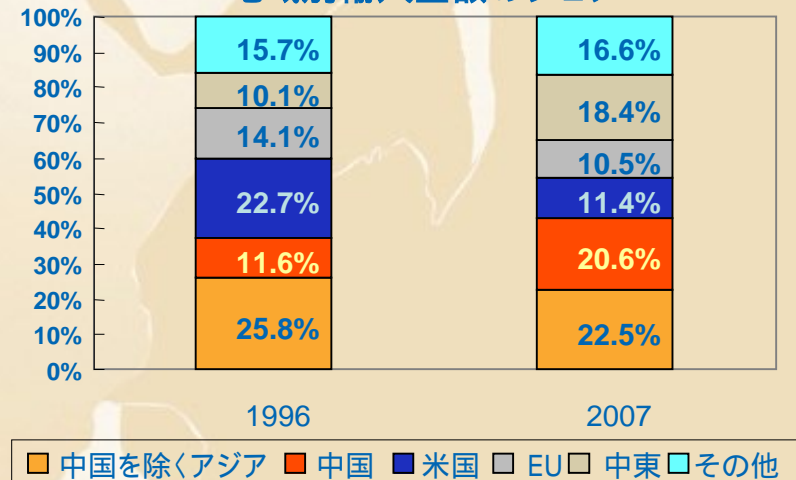
主な貿易相手国のシェア (輸出 + 輸入)



地域別輸出金額のシェア



地域別輸入金額のシェア



# 日本にとって一番重要な市場 - 中国

- 出遅れた日本
- 失敗体験で慎重に成り過ぎ
- WTO加盟で変わった中国市場
- 貿易の自由化の進展とグローバル・スタンダード
- 金融市場の自由化の進展と新たな収益機会

# 中国对外贸易における出超相手国上位10カ国(地域)

表 1-- 3

単位:億米ドル

順位	国または地域	2004年	2005年	2006年	同比
1	中国香港	890.7	1122.8	1446.0	28.8
2	アメリカ	802.6	1143.0	1442.6	26.2
3	オランダ	155.5	229.4	272.1	18.6
4	イギリス	102.1	134.6	176.6	31.2
5	アラブ首長国連邦	55.4	66.8	86.1	28.9
6	スペイン	37.3	63.6	84.9	33.4
7	カナダ	8.1	41.5	78.5	89.2
8	イタリア	27.7	47.6	73.7	54.9
9	トルコ	22.3	36.3	65.4	80.0
10	メキシコ	28.3	33.1	62.2	87.7

注:対 EU 出超は 916.6億 米ドル、同比 30.7 %増

出所:国家商務部ホームページ

2007年 6月 8日

# 中国の例

- 華東師範大学商学院大学院生30人へのアンケートより
- 中国の知識層は日本企業の経営をどう見ている
  - 評判の悪い日本的経営
  - 年功序列
  - 長時間労働 - 残業が多くてもペイは少ない
  - 欧米の企業のほうが自由で経営者の理解がある
  - 規律が厳しいが、欧米の企業のように直ぐに解雇しない

# 具体的な回答例

## 日本企業への一般的な印象

### (1) 労働条件

とても悪い	悪い	普通	良い	とても良い
0%	17%	67%	17%	0%

### (2) 給与

とても低い	低い	普通	高い	とても高い
0%	17%	58%	25%	0%

### (3) 昇進の可能性

とても悪い	悪い	普通	良い	とても良い
0%	33%	50%	17%	0%

### (4) 日本的経営

とても悪い	悪い	普通	良い	とても良い
0%	33%	33%	33%	0%

日本企業で働きたいと思えますか

はい

42%

いいえ

58%

日本企業について評判を聞きますか

はい

良い評判

25%

悪い評判

33%

いいえ

42%